

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ぷりも		
○保護者評価実施期間		2025年 2月 1日	~ 2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間		2025年 2月 1日	~ 2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○訪問先施設評価実施期間		2025年 2月 1日	~ 2025年 3月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 15日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な職員が複数人居ることで 視点やアドバイスの数が多い	様々な職員が訪問し、多くの視点を取り入れるようにしている	経験豊富な職員の教えにより、スキルを磨き 誰でも訪問できるようにする
2	訪問後のフィードバックが素早く 保護者の意向ができるだけ取り入れている	できるだけ当日に速やかに行っている 保護者の意見を取り入れながら次回につなげている	訪問後の様子を全体に周知したり、系列事業所の仕方を取り入れ評価の数を増やしていく
3	誰でも相談しやすい環境づくり	話を急かしたりせず、常に傾聴を心掛けている	普段からの関係づくりを意識する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先が少ない	・サービスを知る保護者が少ない ・保護者が必要性を感じていない	・サービスがあることを周知し、積極的に提案していく ・訪問支援のメリットを伝えていく
2	災害時の対策（訓練等）がきちんとできていない 想定の偏りがある	話し合いに時間をあまり割けておらず 大まかになってしまっている	話し合いの時間を作る 様々な状況にも対応できるように対策を考える
3	児童発達支援と併用しているがサービスに 活かしきれていない	支援員のスキルや経験の差がある	研修や勉強会の実施 複数人で訪問し学びを深める